☆公害による健康被害を許すな!
☆自然環境・生活環境の破壊を許すな！

ヤマシャクヤク

大阪から公害をなくす会ニュース

大阪から公害をなくす会
〒540-0026 大阪市中央区内本町2-1-19
内本町松屋ビル10 370号
TEL 06-6949-8120／FAX 06-6949-8121
E-mail：oskougai@coast.ocn.ne.jp
URL http://oskougai.com/
発行責任者　金谷　邦夫
年間購読料一部2,000円（送料共）

第40回全国公害被害者総行動デー　報告

スローガンは“なくせ公害 まもろう地球環境”

全体の行動は、非常に盛りだくさんの内容

総決起集会

全国公害被害者総行動デーは、全体の参加者が延べ1500人という大規模なもので、６月３日と４日の二日間、環境省初め 20 カ所の官庁と交渉し、デモ行進、集会など含め７つの行動をし、文字通り盛りだくさんの内容で、その中身に圧倒されました。

第一の行動は環境大臣交渉です。「ノーモア・ミナマタ第２次新潟訴訟」原告と「福島原発避難者訴訟」原告などの３人がその被害状況を述べ、環境大臣も「みなさんの大変な苦労を重く受け止めたい」と応えました。

第二行動は「昼デモ行進」（環境省周辺）です。大阪被害者グループは昼前に日比谷公園に集合、デモ行進に参加しました。あいにくの小雨でしたが、昼休みに官庁舎から出てきた人々に総行動のスローガンを訴えました。

第三行動は政府・東電交渉など 19 か所の官庁交渉。環境省の水・大気環境局長交渉では、局長以下幹部約15名。被害者側は大阪患者の会12名はじめ全国の患者11団体、総勢約50名が交渉に臨みました。大阪西淀川の永野さん、東京の秋元さんがそれぞれ自分の苦しんできた被害状況と公害をなくしたいという思いを述べ、環境省出席者にその思いが伝わりました。その後ＰＭ2.5 や NO_2 の大気汚染問題、地球温暖化問題、石炭火力発電所増設問題などで患者側から国の姿勢への強い批判が出ました（詳細は次頁）。

早朝宣伝

第四の行動は総決起集会で、全国被害者の運動交流があり、互いに励まし励まされました。最後に森脇君雄総行動代表委員が「40 年の総行動の歴史を振り返り、政治を動かしてきた意義」を話され、途中で胸がいっぱいで涙ぐみながらに話されていました。

第五の行動は早朝宣伝です。国会、経産省などの官庁街、経団連などで二日目の朝８時からビラまき、マイク宣伝し、私も「大阪都構想」の投票結果で、幅広い住民共同の取り組みが大阪市を守り抜いたことを紹介し、公害問題でもかならず勝利できると訴えました。

環境省周辺の「昼デモ行進」

第六の行動は、13ヶ所に分かれての、財界、被告企業、省庁交渉です。私は経団連交渉に参加しました。被害者側はまじめにいろいろと要望や意見を出しましたが、回答は冷たい態度をとり続けるという対応でした。

第七の行動はまとめの集会です。各交渉責任者から報告があり、最後に森脇君雄代表委員が「今日からまた 41 回目を目指して、全国の地域から攻め上がり、官庁と交渉しよう」と元気な声で力強く結びました。

まとめの集会での森脇君雄さん挨拶

私は初めての参加で一部しか見ていませんが、被害者自身による 40 年にわたる被害の訴えと行動が現実に環境省はじめ官庁の政治を動かしてきたと実感でき、今後の活動に生かします。

（久志本俊弘）